

ら しん ばん

羅 針 盤

令和7年4月15日
進路通信 No. 2
青梅市立西中学校
第3学年 進路担当

苦手教科の復習は4月から！

後に伸ばすほどきつくなります

4月10日（木）、学年集会で進路の話をしました。推薦の話を聞いたり、進路の予定を見て、不安な気持ちになった人もいるかと思います。しかし、不安な気持ちを打ち消すためには今、自分ができることをコツコツと努力するしかありません。まず、日々の授業や家庭学習を大切にすることです。

受験勉強は今年度、3学年の学習内容と1・2年の学習内容の復習を同時に行っていかなければなりません。自分の好きな教科はつつい勉強をたくさんしてしまうと思いますが、「苦手な教科は避けてしまう」という経験、ありませんか？

苦手な教科を後回しにすると、進路の予定が切羽詰ってきた時期に慌てて取り組む結果になってしまいます。特に2学期以降に先延ばしにすると、時間もないばかりか、心の余裕も失ってしまいます。この4月から苦手教科の復習を行っていきましょう。必ず後で「やっておいて良かった！！」と思えるはずです。

復習のポイント

●分からなくなったところまでさかのぼって復習することが大切です

特に数学に関しては小学校5・6年生までさかのぼっても構いません。「昔の教科書を見直すのは恥ずかしい」という考えは捨てて、復習を行ってみましょう。また、これから配布されるスタディプラネット等も活用してみてください。

●まずは基礎をしっかりと固めること

何の教科であっても基礎がしっかりできていないと応用問題は解くことはできません。特に入試問題は応用問題がほとんど、いえ、全部と言っても過言ではないでしょう。ワークや問題集も最初から応用問題ばかりのものに取り組むと自信を失いかねません。最初は問題集の厚さも薄いもので構いません。英語であれば単語や文法、数学であれば計算など基本的なことをしっかりと学習するようにしてください。

●過去の問題が役立つ

1・2年生で行われた定期考査の問題用紙を捨てないでとっておいた人！ついに問題用紙が役立つ時がきました。過去の問題は復習の格好の材料となります。「定期考査の

問題用紙なんてとっくに捨ててしまったよ」という人もいます。そうした人達は過去に使ったワークや問題集を繰り返し、復習につかってみましょう。

進路の豆知識 1

Q 「受験」と「受検」はどう違うの？

A 一般的には受験と言いますが、都立高校の入試は「学力検査」と言います。そのため、都立高校を受けることのみに限って、「受検」と言うのです。私立高校や東京都立高校以外の高校(埼玉県、山梨県、神奈川県など)は受験という言い方をします。これから先、たくさん使われていく言葉ですが、間違えないように使い分けましょう。

Q 「自校作成式問題」とはどういうもの？

A 自校作成式問題とは都立高校の一部で実施されている入試制度です。ほとんどが一般入試の内、国・数・英の3教科をその高校ごとに作成し、入試問題として出題をしています。難易度が高い応用問題がほとんどで、あらかじめ学習をしっかりとっておかないと解くことができません。近隣では八王子東、立川、国立、国分寺高校等が自校作成式問題で入試を行っています。